

# のびやかMIRAI保育園 自己評価

		2024年度		2023年度	
		現在の取組及び状況	判定	現在の取組及び状況	判定
<b>保育内容</b>					
<b>全体的な計画の作成</b>					
1	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	前年度からの見直しや、子どもの発達や特性に応じた保育計画を作成し、計画的に実践している。	A	保育所理念や保育方針に基づき、子どもの発達を即して作成している。	A
<b>環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開</b>					
1	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	合同保育やクラスでの保育環境の工夫をし、子どもが心地よく過ごす環境を整えている。室内の整理整頓や魅力ある遊びの工夫に配慮している。また、個々の生活リズムや遊びと休息のバランスを考慮し、安心・安全に過ごせるようにしている。	A	朝・夕の合同保育やクラスの保育環境、4、5歳児の午後の過ごし方の工夫をし、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整えている。また、ヒヤリハットの共通理解や職員の役割分担を明確にする事で、全職員より安全な環境に気付けるようにしてきた。	A
2	一人ひとりの子どもを愛し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	日々の様子や変化を見逃さないように、子どもの思いや個性を受け止め、一人一人との丁寧な関わりを大切にしている。また、子どもの気持ちを受け止め、甘えたい気持ちを受け止めて、自分でやろうとしている時には見守ったりする等、個々に合わせた対応をしている。	A	一人一人への温かい関わりや丁寧な受け止めを第一に、家庭環境や生活リズムに合わせた配慮や連携を図りながら、体調面や気持ちの変化に気付けるよう、全職員で情報共有・共通理解をし、子どもたちの成長を見守ってきた。	A
3	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	子どもが自発的にしようとする気持ちや大人の許可なく場所の整理、整理整頓、待ち時間短縮の工夫をし、子どもが自分でできること、個々に合わせた援助をしている。	A	個人や動線に配慮した環境設定や絵本読みなど援助の工夫、玩具の片付けや整理整頓、手洗いや待つ時間の短縮の工夫をし、子どもが自分でできるようにする。	A
4	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	子どもの興味や関心に応じた遊びや環境を用意し、保育者も一緒に楽しみ共感する事で、子どもが自発的、主体的・意欲的に遊びを楽しむ事が出来る。サーキットのある芝生の広い園庭では、異年齢が一緒に遊んで、リレーやドッジボール、鬼ごっこ等を楽しみながら遊んでいる。また、互いが刺激となり喜び楽しむ姿が見られた。	A	子どもが自発的・主体的に遊びを楽しめるよう、自分で好きな遊びや玩具を選び、十分に満足できるように、コーナー作りや玩具の量、遊びの提案など、子どもの思いを大切に環境構成の整備や援助に努めている。今年度は、豊かな遊びや園外散歩や園庭での野菜栽培や収穫体験、外部講師でのサッカー教室や読み聞かせを通して様々な体験が出来た。	A
5	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	子ども一人一人との愛情豊かで応答的な関わりや絵本の読み聞かせを通して、安心して生活する事が出来た。また、保育士と一緒に戸外遊びや感触遊び、手遊び等を楽しむ事で、周りの環境や友だちにも興味をもって遊ぶ姿が見られた。	A	保育士の愛情豊かな応答的な関わりや絵本の読み聞かせが、子どもの心や安心感につながり、保育士と一緒に戸外遊びや水遊び、感触遊びや手遊び等、いろいろな活動を楽しむ事が出来た。	A
6	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	安心できる環境や関わりの中で、保育者や友だちと様々な体験が出来るよう、発達に応じた遊びの展開や工夫をしている。また、保育士が個々に丁寧に寄り添い、思いを受け止めるように配慮し、歌や絵本を通して、言語の発達を促している。	A	子どもの興味や自分でしようとする気持ちを尊重し、探索活動が十分に出来るような遊びの提案、玩具の選択・環境構成の配慮に心がけている。また、自我の育ちを受け止め、適切な関わりができるよう努めている。	A
7	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	個々の良さや個性が生かされ、お互いに思いやりや関わりをもち、友達との関わりを深めたり自分で考えて行動したりして、遊びや活動に意欲的に取り組める環境構成や援助に努めている。	A	集団の中で子ども一人ひとりの良さや個性を生かされ、お互いに思いやりや関わりをもち、友達と共に楽しむような遊びや活動に取り組めるような環境構成や援助に努めている。	A
8	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	障害のある子どもを愛し、専門機関との相談や助言を受けたり、絵本読みやカードを使用したりして、発達に合わせた支援を行っている。	B	特別な支援を要する子どもは、子どもの発達に応じた保育ができるよう職員全体で共通理解し、専門機関への相談や助言を受けたり、保護者面談などを通して、保育内容の充実や環境設定の工夫を促している。	A
9	それぞれの子どもが在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	子どもの状態に合わせた、環境構成の工夫や職員体制の配慮をし、温かくゆったりと、安心して過ごすことができるよう配慮している。	A	朝・夕の合同保育でも、子どもの実態や状況に合わせた、環境構成の工夫や職員体制の配慮をし、朝の受け入れから降園まで温かくゆったりと、安心して過ごすことができるよう配慮している。	A
10	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	周南たばこ学園、就学支援委員会等の研修に参加、卒園児の就学先が6校との連絡会など、就学に向けて個々への対応や連携を図ってきた。	A	今年度は、卒園児の就学先が8校あり、就学時委員会や就学時連絡会など、個々への対応や連携を図ってきた。	A
<b>健康管理</b>					
1	子どもの健康管理を適切に行っている。	未済児は、毎朝保育士の様子の中で一人一人の絵本の読み聞かせ時に体温測定をする事で、絵本や保育士と触れ合いはもたらす。個々の健康観察の場として大切にしている。登園時には、子どもの健康状態に関する情報の周知や共有、保護者への健康状態の周知、保育室の換気、消毒、午睡時のうつ伏せ検診など確認チェックをしている。	A	未済児は、毎朝保育士の様子の中で一人一人の絵本の読み聞かせ時に体温測定をする事で、絵本や保育士と触れ合いはもたらす。個々の健康観察の場として大切にしている。登園時には、子どもの健康状態に関する情報の周知や共有、保護者への健康状態の周知、保育室の換気、消毒、午睡時のうつ伏せ検診など確認チェックをしている。	A
2	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	内科健診・歯科健診を年2回行ない、医師の診断を保護者へ伝えている。	A	内科健診・歯科健診を年2回ずつ行い、結果を保護者へ伝えている。	A
3	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	医師の診断を受け、保育士・栄養士の保護者面談をした上で、個別の対応表を作成、個別に対応・配慮している。	A	医師からの診断を受け、保護者面談をした上で、個別の対応表を作成、食事の提供においても、個別に対応・配慮している。	A
<b>食事</b>					
1	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	年長児が選ぶお楽しみ給食・畑で収穫した野菜を調理・行事メニュー（七夕・恵方巻）の工夫等、子どもが美味しく、楽しく、食に興味をもって食べられるようにしている。	A	野菜の栽培や収穫物を取り入れた給食、クッキングや誕生日のお楽しみ給食、節分恵方巻、ひなまつりなど行事給食など、体験を通して食事を楽しくすることが出来る工夫をしている。	A
2	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	日々の給食メニューの工夫や手作りおやつや、おやつメニューを取り入れ、発達状況に合わせた調理の工夫に努めている。また、のびやか保育園4園での給食会議を行い、よりよい給食の提供に努めている。	A	コリメニューを取り入れ、発達状況に合わせた調理の工夫をしている。のびやか保育園4園合同の給食会議を行い、よりよい給食の提供に努めている。	A
<b>子育て支援</b>					
<b>家庭との緊密な連携</b>					
1	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	登園時、連絡ノート、おうちえんを通して、家庭との連携を密に行っている。	A	おうちえんや連絡ノート・登園時の対応を通して、日々の保育や子どもの様子や育ちを伝え、家庭との連携を密に行っている。	A
<b>保護者等の支援</b>					
1	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	日々の様子や成長の姿をこまめに伝え、保護者との信頼関係やコミュニケーションを図り、家庭と連携して子どもの育ちをサポートしている。	A	参観会や保護者面談だけでなく、日々のコミュニケーションを大切に、気軽に相談できる信頼関係を築いている。	A
2	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	子どもの少々の変化やつよきを逃さないよう留意したり、保護者の子育ての悩みや相談に丁寧に対応したりして、職員間でも共有している。	B	虐待等権利侵害の疑いのある子どもの実態は少ないが、職員全員で、子ども理解や子どもの様子、少しの変化に気付けるよう努めている。	A
<b>保育の質の向上</b>					
1	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	前期・後期の2回自身の自己評価を行い、保育実践の振り返りや保育の質の向上や改善に努めている。	A	相談したり教えたたりする保育者間のコミュニケーションの機会を大切に、お互いの保育の質の向上だけでなく、個々の保育内容の充実にも努めている。	A